

第5次春日井市行政改革大綱の実施状況に対する行政改革推進懇話会委員の主な意見（平成28年度終了時）

平成29年8月25日に開催された第1回行政改革推進懇話会において、委員から次のような意見が出されました。

◇視点1の指標「業務改善運動取組件数」について

K A えるグランプリについて、単なるコストカットではない改善策を提案したチームが受賞できるような制度設計が必要である。

◇視点3の指標「職員1人当たりの時間外勤務時間」について

- ・ 時間外勤務は、全体としては微増程度であるが、課によって増加量に偏りがある可能性も否定できない。時間外勤務を減少させるためには、個人の取組に加え、制度的見直しが必要ではないか。例えば、専門性が低い仕事はグループで共有するなど、課内において可能な限り業務を共有することを検討してもいいのではないか。
- ・ 仕事の割振りを弾力的に行えるようにするため、職員の能力を段階的に向上させるプログラムを検討してもいいのではないか。
- ・ 職員の能力に差ができない制度設計を検討すべきではないか。

◇視点4の指標「女性管理職の人数」について

女性管理職数を増加させるためには、女性の採用数を増やす制度設計を検討すべきではないか。

◇視点7の指標「市の助成により新設又は増設した企業数」について

事業所税が中小企業の誘致を阻害しているのではないか。

◇その他の意見

行政は、一般企業のように合理化ばかりを追求せず、余力を持つべき

である。災害等の予想外の事態が生じたときにも対応できるよう、人員的に余裕を持たせることも考えるべきである。